

# 愛知民報

日本共産党的街頭演説会で聴衆の声援にこたえる（左から）もとむら 小池 しまづの各氏＝12日、名古屋市・金山総合駅前

2020年  
9月20日  
第2507号

発行所 愛知民報社

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号

愛知あかつき会館内

☎(052) 251-2925 FAX(052) 261-6063

定価 月 400円 郵送料 168円 1部 100円

毎週日曜日発行（第5日曜日は休刊）

1966年7月31日第三種郵便物認可

週刊

愛知民報を  
周りの人々に



## 小池 書記局長 が名古屋で街頭演説

# 総選挙 共産党躍進・共闘勝利で 希望持てる新しい政治を

日本共産党的小池晃書記局長は12日、早い段階での解散・総選挙がありうる情勢だとして愛知入りし、名古屋市金山駅前で、もとむら伸子衆院議員（比例東海候補）、しまづ幸広前衆議員（同）とともに街頭演説をおこないました。もとむら、しまづ両氏は総選挙必勝の決意を表明しました。



衆議院議員  
もとむら伸子



前衆議院議員  
しまづ幸広

## 衆院比例東海予定候補が決意表明

小池氏は、安倍退陣は健康問題が理由だが、憲法破壊、消費税増税、コロナ対策の迷走など安倍政治のゆきづまりの結果でもあると指摘。

菅氏は官房長官として安倍首相と一心同体で、その新政権は「統一安政権」だとして総選挙での日本共産党の躍進と野党共闘の勝利で安倍政治に決着をつけると強調していると批判。自己責任を押し付ける新自由主義からの転換を力説しました。

菅氏は憲法25条の国社会保障増進をないがしろにする「自助・共助」を強調していると批判。自己責任を押し付ける新自由主義からの転換を力説しました。

日本は憲法9条を生かす平和外交で国際的役割を果たすべきとして、「軍事費を削って、コロナ対策に」と訴えました。

統「安倍政権」つけようと呼びかけました。

平和外交こそコロナ後の展望

また、安倍首相が辞任直前に、「敵基地攻撃能力」の保有を持ち出していることについて

野党連合政権に

新自由主義をつくる  
新しい日本をつくる  
『7つの提案』

①ケアに手厚い社会をつくる  
②人間らしく働ける労働のルールをつくる  
③一人ひとりの学びを保障する社会をつくる  
④危機にひとりをもつて対応できる強い経済

⑤科学を尊重し、国民に信頼される政治をつくる  
⑥文化・芸術を大切にする国をつくる  
⑦ジェンダー平等社会をつくる